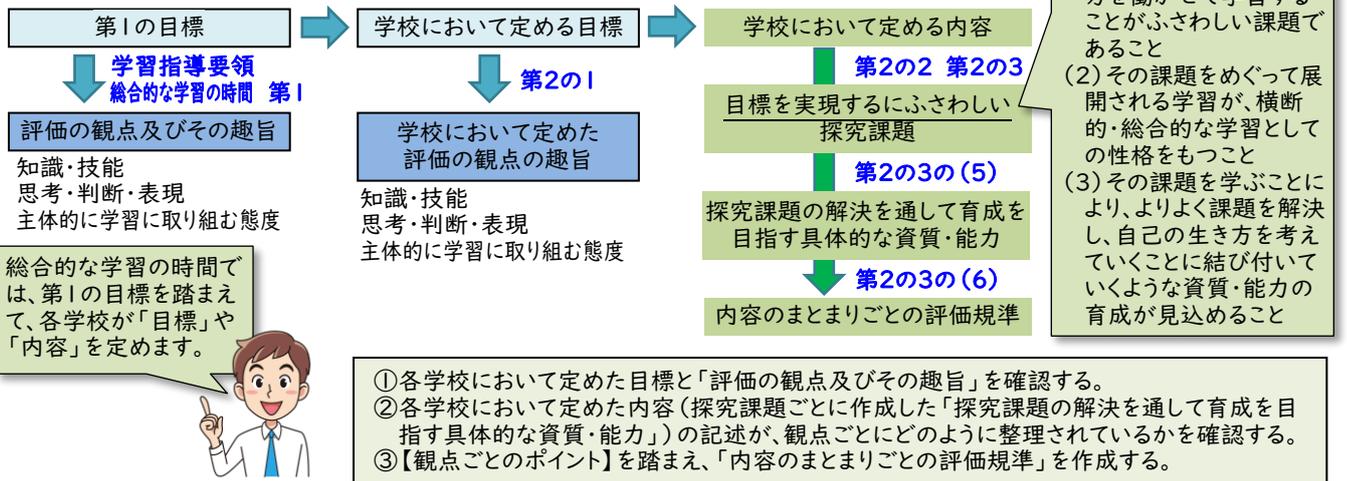


中学校 総合的な学習の時間

指導と評価のポイント

生徒が自ら課題を解決する過程を想定し、探究的な学習のプロセス「①課題の設定②情報の収集③整理・分析④まとめ・表現」を意識して指導にあたりるとともに、目指す資質・能力が育成されるように、課題の解決や探究的な学習活動が発展的に繰り返されるような学習活動のまとまりを計画することが大切です。

1 内容のまとまりごとの評価規準の作成の手順



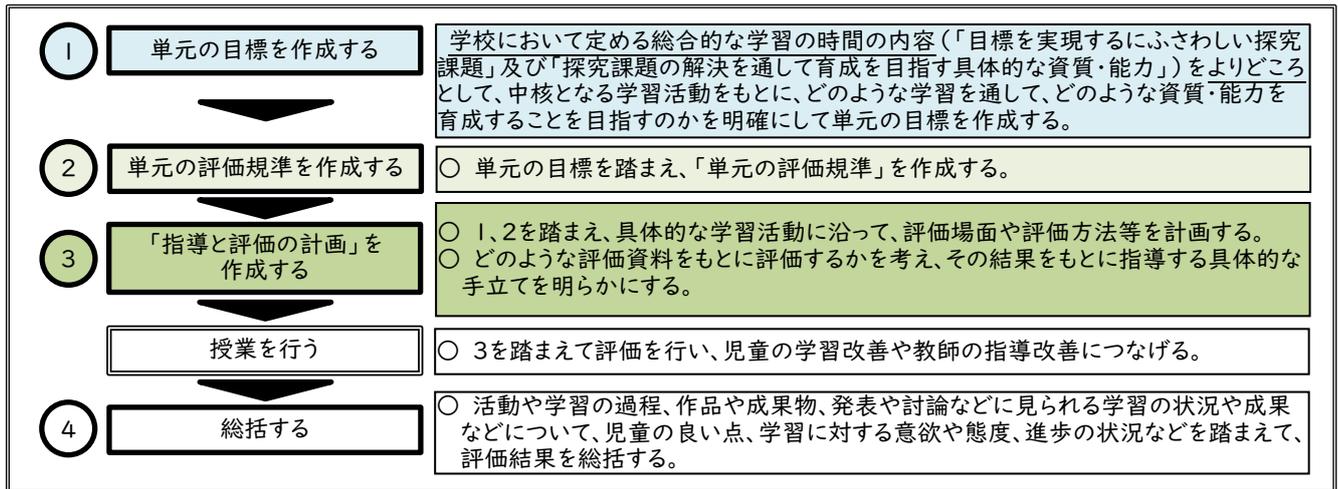
事例 単元名 未来の人も豊かな暮らしをするために ～エネルギー問題について考え、事前環境との共生を目指す～（第2学年）
内容のまとまり 「資源エネルギー」（全 50 時間）
（参考資料 p48）

内容のまとまり			
目標を実現するにふさわしい探究課題	探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力		
	知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
自分たちの消費生活と資源やエネルギーの問題	<ul style="list-style-type: none"> エネルギーを生み出す資源には限りがあること、自然との共生の実現には多様な問題が存在していることや問題解決に向けて取り組む人々や組織があることを理解する。（理解している。） 調査活動を、目的や対象に応じた適切さで実施することができる。（実施している。） エネルギーの問題への理解は、自分の生活と環境や資源の関係について探究的に学習してきたことの成果であることに気付く。（気付いている。） 	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー問題への関わりを通して感じた関心をもとに課題をつくり、見通しをもって計画を立てることができる。（立てている。） 課題の解決に必要な情報を、効果的な手段を選択して多様に収集し、種類に合わせて蓄積することができる。（蓄積している。） 課題解決に向けて、多様な情報の特徴に応じて整理し、考えることができる。（考えている。） 相手や目的に応じて、分かりやすくまとめ、表現することができる。（表現している。） 	<ul style="list-style-type: none"> 課題解決に向け、自分の特徴やよさに気付き、探究活動に進んで取り組もうとする。（取り組もうとしている。） 自他の意見や考えのよさを生かしながら課題解決に向け、協働して学び合おうとする。（学び合おうとしている。） 地域との関わりの中で自己の生き方を考え、自分にできることを見付けようとする。（見付けようとしている。）

文末の下線部を（ ）のようにすることで、「内容のまとまり」から「内容のまとまりごとの評価規準」を作成することができます。

単元の目標	
○様々な発電方法を調査したり電力消費量を減らすための活動に取り組んだりすることを通して、	学習対象や学習活動
○自分たちの暮らしは環境に負荷を与えたり、限りある資源の消費の上で成り立っていることを理解するとともに、	知識及び技能
○電力消費量を抑えるための実現可能な方法を探し求め、	思考力, 判断力, 表現力等
○未来の豊かな暮らしを守るために行動できるようにする。	学びに向かう力, 人間性等

2 学習評価の進め方の手順



単元名	単元の評価規準		
	評価の観点		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
未来の人も豊かな暮らしをするために エネルギー問題について考え、 事前環境との共生を目指す	① エネルギーの問題について、資源には限りがあることや発電方法のバランスが重要であること、生活や暮らしとのつながりが大切であることなどを理解している。 ①概念的な知識の獲得	① 電気エネルギーを生み出すための発電について、何をどのように調べるか見通しをもって活動計画書を作成している。 ①課題の設定	① エネルギーに関する問題について、調べたことの中から伝えたいことを明確にして、新聞を作成しようとしている。 ①自己理解・他者理解
	② 地域への節電の呼びかけを相手や場面に応じた適切さで実施している。 ②自在に活用することが可能な技能の獲得	② 多様な発電方法について、その仕組みや特徴に関する情報を、幅広く効率的に収集している。 ②情報の収集	② 太陽光発電が増えることの是非について、異なる意見のよさや他者の考えの価値を受け入れ参考にしようとしている。 ②主体性・協働性
	③ エネルギー問題と自分の生活との関係について探究し続けてきたことによって、自らの行為が未来社会に深く関わっていることに気付いている。 ③探究的な学習のよさの理解	③ 自分でできる節電方法について、それぞれのメリット・デメリットを明らかにしたうえで、取り組むことの優先順位を決めている。 ③整理・分析	③ アンケートの結果から、これからの社会を視野に入れ、節電の取組を地域に継続的に働きかけようとしている。 ③将来展望・社会参画
	④ エネルギー問題の解決方法について、結論に対する根拠を明らかにして、自分の考えを主張している。 ④まとめ・表現		「内容のまとめりごとの評価規準」を参考に、単元で行う学習活動に即して具体的に記述します。

指導と評価の計画

小単元名(時数)	ねらい・学習活動	知	思	態	評価方法
1 豊かな暮らしの背景にあるエネルギー問題について考えよう。(15)	・ エネルギーに関する問題を出し合い、解決に向けた今後の活動への見通しをもつ。		①		・ 発言 ・ 計画書
	・ 電気に焦点を絞り、様々な発電方法の仕組みや特徴について調べる。		②		・ ワークシート
	・ 社会見学を通して、化石エネルギーや再生可能エネルギーを利用した発電の意義について考え、学んだことを新聞にまとめる。				①
2 エネルギー問題の解決に向けて、自分たちができる取組について考えよう。(25)	・ 太陽光発電施設の見学や、太陽光発電の設置業者にインタビューを行い、太陽光発電のメリット・デメリットを議論する。			②	・ 振り返りカード
	・ 太陽光発電や再生可能エネルギーについて、身近な地域や実際の現場での調査を行い、情報を収集する。				
	・ エネルギーの自給自足に取り組む人の話を聞き、自分たちができる効果的な節電方法について考える。(私の節電ベスト3)		③		・ 「私の節電ベスト3」シート
	・ 節電に対する意識を地域に広げ、多くの人に節電に取り組んでもらうために、地域が一斉に消灯する活動を企画し実行する。	②			・ 節電企画シート
3 取組を振り返り、エネルギー問題について自己の考えをまとめ、今後の関わり方について考えよう。(10)	・ 活動に対する地域アンケートを行い、集計結果をもとに、活動の有効性を見つめ直す。			③	・ 活動報告書
	・ 海外の電力事情(フランスドイツなど)を比べ、発電方法や電力生産の方向性について、自分の考えを主張文(結論と理由)としてまとめる。		④		・ 主張文
	・ 作成した主張文を使って、「これからの社会における発電や電力生産」についてのパネルディスカッションを行う。	①			・ 発言 ・ 主張文への追記
	・ 単元を通して学んだ記録(振り返りカード、私の節電ベスト3、主張文など)を振り返り、自己の成長や学習したことを基にして、「10年後の私」宛に手紙を書く。	③			・ 手紙